

受益者さま各位

東京海上アセットマネジメント株式会社

弊社公募投資信託の3月13日付の基準価額の下落について

下記の弊社公募投資信託の3月13日付の基準価額が前営業日比で5%以上下落いたしましたので、その状況についてご報告いたします。

記

ファンド名	基準価額 (円/1万口)	前営業日比 (円)	騰落率 (%)
東京海上・グローバルヘルスケアREITオープン(年1回決算型)	9,522	▲ 1,550	▲ 14.00
東京海上・世界ヘルスケアREITファンド(毎月決算型)	7,715	▲ 1,253	▲ 13.97
東京海上・グローバルヘルスケアREITオープン(毎月決算型)	8,144	▲ 1,318	▲ 13.93
東京海上・グローバルヘルスケアREITオープン (為替ヘッジあり)(年1回決算型)	8,370	▲ 1,334	▲ 13.75
東京海上・グローバルヘルスケアREITオープン (為替ヘッジあり)(毎月決算型)	7,427	▲ 1,176	▲ 13.67
東京海上 J-REIT 投信(通貨選択型) メキシコペソコース(毎月分配型)	6,255	▲ 946	▲ 13.14
東京海上 J-REIT 投信(通貨選択型) メキシコペソコース(年2回決算型)	9,650	▲ 1,429	▲ 12.90
東京海上 J-REIT 投信(通貨選択型) ブラジルリアルコース(年2回決算型)	16,721	▲ 2,328	▲ 12.22
東京海上 J-REIT 投信(通貨選択型) ブラジルリアルコース(毎月分配型)	4,069	▲ 565	▲ 12.19
東京海上・米国優先リートファンド(為替ヘッジなし)	7,812	▲ 908	▲ 10.41
東京海上・US優先リートオープン(為替ヘッジあり)	7,204	▲ 834	▲ 10.38
東京海上・US優先リートオープン(為替ヘッジなし)	6,756	▲ 771	▲ 10.24
東京海上・米国優先リートファンド(為替プレミアム)	4,078	▲ 455	▲ 10.04
東京海上セレクション・外国株式インデックス	19,903	▲ 2,138	▲ 9.70
東京海上 J-REIT 投信(通貨選択型) 豪ドルコース(年2回決算型)	20,451	▲ 2,185	▲ 9.65
東京海上 J-REIT 投信(通貨選択型) 豪ドルコース(毎月分配型)	7,461	▲ 795	▲ 9.63

■ 当資料は、投資信託の運用状況を開示する目的で作成したものであり、証券の勧誘を目的とするものではありません。また、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。■ 投資信託は、株式や債券など値動きのある証券に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、元本が保証されているものではありません。

東京海上・米国政策関連株式ファンド(為替ヘッジなし)	6,555	▲ 694	▲ 9.57
東京海上 J-REIT 投信(通貨選択型) インドネシアルピアコース(毎月分配型)	9,954	▲ 1,050	▲ 9.54
東京海上 J-REIT 投信(通貨選択型) インドネシアルピアコース(年2回決算型)	25,228	▲ 2,652	▲ 9.51
東京海上・米国政策関連株式ファンド(為替ヘッジあり)	6,804	▲ 701	▲ 9.34
東京海上セレクト世界株式ファンド	11,857	▲ 1,189	▲ 9.11
東京海上・外国株式ファンド	15,765	▲ 1,485	▲ 8.61
東京海上セレクション・外国株式	21,550	▲ 2,011	▲ 8.54
東京海上・宇宙関連株式ファンド(為替ヘッジなし)	8,285	▲ 767	▲ 8.47
東京海上・米国高配当成長株式ファンド (Wプレミアムコース)(毎月決算型)	4,301	▲ 397	▲ 8.45
東京海上・米国新興成長株式ファンド	7,914	▲ 721	▲ 8.35
東京海上・宇宙関連株式ファンド(為替ヘッジあり)	8,610	▲ 778	▲ 8.29
東京海上 J-REIT 投信(通貨選択型) 米ドルコース(年2回決算型)	13,444	▲ 1,169	▲ 8.00
東京海上 J-REIT 投信(通貨選択型) 米ドルコース(毎月分配型)	10,885	▲ 943	▲ 7.97
東京海上・がんたたか投信(為替ヘッジあり)(年1回決算型)	9,272	▲ 777	▲ 7.73
東京海上・グローバルペット関連株式ファンド(為替ヘッジなし)	8,094	▲ 665	▲ 7.59
東京海上・がんたたか投信(為替ヘッジなし)(年1回決算型)	9,120	▲ 732	▲ 7.43
東京海上・グローバルペット関連株式ファンド(為替ヘッジあり)	8,423	▲ 659	▲ 7.26
東京海上・円資産バランスファンド(3倍型)(年1回決算型)	8,153	▲ 612	▲ 6.98
東京海上・円資産バランスファンド(3倍型)(毎月決算型)	8,160	▲ 605	▲ 6.90
東京海上・アジア中小型成長株ファンド	5,546	▲ 392	▲ 6.60
東京海上 J-REIT 投信(通貨選択型) 円コース(年2回決算型)	20,815	▲ 1,408	▲ 6.34
東京海上 J-REIT 投信(通貨選択型) 円コース(毎月分配型)	12,606	▲ 851	▲ 6.32
東京海上・東南アジア株式ファンド	7,058	▲ 475	▲ 6.31
東京海上・日経 225 インデックスファンド	10,545	▲ 663	▲ 5.92
東京海上 Rogge 世界ハイブリッド証券ファンド(通貨選択型) メキシコ・ペソコース(毎月分配型)	5,436	▲ 340	▲ 5.89
東京海上・ジャパン・オーナーズ株式オープン	20,856	▲ 1,221	▲ 5.53
東京海上・ベトナム株式ファンド(年1回決算型)	6,863	▲ 394	▲ 5.43
東京海上・ベトナム株式ファンド(年4回決算型)	6,479	▲ 370	▲ 5.40
東京海上ターゲット・イヤー・ファンド 2065	8,508	▲ 462	▲ 5.15
東京海上日本株 TOPIX ファンド	9,185	▲ 489	▲ 5.05
東京海上セレクション・日本株 TOPIX	15,279	▲ 811	▲ 5.04
東京海上ターゲット・イヤー・ファンド 2055	8,549	▲ 450	▲ 5.00

■ 当資料は、投資信託の運用状況を開示する目的で作成したものであり、証券の勧誘を目的とするものではありません。また、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。■ 投資信託は、株式や債券など値動きのある証券に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、元本が保証されているものではありません。

<基準価額下落の背景>

※3月13日付の一部対象ファンドの基準価額の下落は、3月12日のJ-REIT市場および3月12日の海外市場の値動きによるものです。

新型コロナ・ウイルスの世界的な感染拡大と、それによる世界の経済活動への悪影響の深刻化・長期化に対する警戒感の高まりを背景に、世界的にリスク資産圧縮の動きが続いています。

こうした中、日本時間3月12日に米国が英国を除く欧州からの渡航を一定期間制限するとの発表を受けて、金融市場では世界的にリスク回避の動きが一段と強まる展開となり、株式市場やREIT市場が大きく下落し、対象ファンドの基準価額の下落要因となりました。

■海外市場の動向

上記の米国による渡航制限が発表されたことや、ECB（欧州中央銀行）が追加金融緩和策を発表したものの、利下げを見送ったことに対し失望感が広がったことから、12日の株式市場では、欧州株式（ユーロ・ストックス50）が▲12.4%、米国株式（S&P500種指数）が▲9.5%と大きく下落しました。

ヘルスケアREIT市場においても、昨日に続きヘルスケアREIT全般が下落し、市場指数ベースで▲17.5%と大幅な下落となりました*。

*：FTSE EPRA/NAREIT Developed Healthcare Index（米ドルベース）の騰落率

■国内債券市場の動向

13日の国内債券市場では、投資家がリスク資産の圧縮を進める中、持ち高調整の動きなどが重石となり、長期国債先物（6月限）は前日比▲0.7%と下落しました。

■国内株式市場・J-REIT市場の動向

13日の国内株式市場は、前日の欧米株式市場が大きく下落した流れを引き継ぎ、東証株価指数(TOPIX)が▲5.0%と12日（同▲4.1%）に続き大きく下落しました。

12日のJ-REIT市場は、新型コロナ・ウイルス感染拡大による影響の長期化・深刻化への警戒感が高まったことを受け、▲6.5%の下落となりました。翌13日のJ-REIT市場も、12日の欧米株式市場が大幅に下落した流れを受け、▲10.5%と大きく下落しました。

■為替相場

13日の為替相場では、日本円は米ドルに対しては円安で推移した一方、ユーロや英ポンドなど他主要通貨に対して円高が進行しました。

<今後の見通し>

新型コロナ・ウイルス感染拡大が世界的に続く中、米国による渡航制限の実施によって経済活動の更なる停滞が懸念されるなど、金融市場の動向は予断を許さない状況にあると考えます。

しかし、一方で、日米欧を中心に各国・地域金融当局も金融システムリスクに関しては十分認識しており、機動的に政策を発動する姿勢を明確にしていることから、今後の各国金融当局の動きを注視する必要があると考えます。

引き続き、世界的な新型コロナ・ウイルスの感染拡大の行方と、金融当局による今後の対応を探る動きを睨みつつ、金融市場は神経質な展開が続くと見えています。

■ 当資料は、投資信託の運用状況を開示する目的で作成したものであり、証券の勧誘を目的とするものではありません。また、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。■ 投資信託は、株式や債券など値動きのある証券に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、元本が保証されているものではありません。

<国内株式、J-REIT 指数の騰落率 2020年3月13日(3月12日終値比)>

指数	終値	騰落率
東証株価指数(TOPIX)	1,261.70	▲5.0%
東証 REIT 指数	1,596.30	▲10.5%

<J-REIT 指数の騰落率 2020年3月12日(3月11日終値比)>

指数	終値	騰落率
東証 REIT 指数	1,783.50	▲6.5%

<海外主要指数の騰落率 2020年3月12日(3月11日終値比)>

指数	終値	騰落率
S&P500 種指数	2,480.64	▲9.5%
ナスダック総合指数	7,201.80	▲9.4%
ユーロ・ストックス 50	2,545.23	▲12.4%
FTSE100	5,237.48	▲10.9%
香港ハンセン指数	24,309.07	▲3.7%
FTSE EPRA/NAREIT Developed Healthcare Index(米ドルベース)	1,154.42	▲17.5%

<対円為替相場騰落率 2020年3月13日(3月12日比)>

通貨	為替レート	騰落率
米ドル	105.17	+0.5%
ユーロ	117.43	▲0.4%
英ポンド	131.56	▲1.9%

※為替レートは三菱UFJ銀行の対顧客電信相場仲値。

出所：ブルームバーグ

以 上

■ 当資料は、投資信託の運用状況を開示する目的で作成したものであり、証券の勧誘を目的とするものではありません。また、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。■ 投資信託は、株式や債券など値動きのある証券に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、元本が保証されているものではありません。

投資信託にかかるリスク・費用について

■投資信託にかかるリスクについて

投資信託は、主に国内外の株式や公社債等値動きのある証券に投資をします。これらの組入資産の価格下落等や外国証券に投資する場合には為替の変動により基準価額が下落し、損失を被ることがあります。投資信託は、預貯金や保険と異なります。また、投資元本が保証されているものではなく、基準価額の下落により損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。個別の投資信託毎にリスクの内容や性質が異なりますので、投資に当たっては投資信託説明書(交付目論見書)や契約締結前交付書面等をよくご覧ください。

■投資信託にかかる費用について

【投資者が直接的に負担する費用】

- 購入時 …購入時手数料 上限 3.3%(税込)
- 換金時 …信託財産留保額 上限 0.5%

【投資者が間接的に負担する費用】

- 運用管理費用(信託報酬) …上限年率 2.09%(税込)
- その他の費用・手数料 …監査報酬、有価証券売買時の売買委託手数料、信託事務等に要する諸費用等

※上記の手数料等の合計額については、保有期間等に応じて異なりますので、事前に表示することができません。

詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)、契約締結前交付書面等をよくご覧ください。

<ご注意>

上記のリスクや費用につきましては、一般的な投資信託を想定しています。費用の料率につきましては、東京海上アセットマネジメントが運用するすべての投資信託のうち、徴収するそれぞれの費用における最高の料率を記載しています。費用の詳細につきましては、個別の投資信託毎の投資信託説明書(交付目論見書)や契約締結前交付書面等をよくご覧ください。投資信託にかかるリスクや費用は、投資信託毎に異なりますので、投資をされる際には、事前に投資信託説明書(交付目論見書)や契約締結前交付書面等をよくご覧ください。

■ご留意事項

- 当資料は、東京海上アセットマネジメントが作成した販売用資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。お申込みには必ず投資信託説明書(交付目論見書)をご覧の上、ご自身でご判断ください。投資信託説明書(交付目論見書)は販売会社までご請求ください。
- 当資料の内容は作成日時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。
- 当資料は信頼できると考えられる情報に基づき作成しておりますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。当資料に掲載された図表等の内容は、将来の運用成果や市場環境の変動等を示唆・保証するものではありません。
- 投資信託は、値動きのある証券等(外貨建資産に投資する場合には、この他に為替変動リスクもあります)に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、元本が保証されているものではありません。
- 投資信託は金融機関の預金とは異なり元本が保証されているものではありません。委託会社の運用指図によって信託財産に生じた利益および損失は、全て投資家に帰属します。
- 投資信託は、金融商品取引法第37条の6の規定(いわゆるクーリング・オフ)の適用はありません。
- 投資信託は、預金および保険契約ではありません。また、預金保険や保険契約者保護機構の対象ではありません。
- 登録金融機関から購入した投資信託は投資者保護基金の補償対象ではありません。

設定・運用は

東京海上アセットマネジメント株式会社

ホームページ: <https://www.tokiomarineam.co.jp> サービスデスク: 0120-712-016(受付時間: 営業日の 9:00~17:00)

商号等 : 東京海上アセットマネジメント株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第361号

加入協会: 一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会、一般社団法人第二種金融商品取引業協会

■ 当資料は、投資信託の運用状況を開示する目的で作成したものであり、証券の勧誘を目的とするものではありません。また、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。■ 投資信託は、株式や債券など値動きのある証券に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、元本が保証されているものではありません。